

## 部活動手当改悪反対の県教委交渉

# 再交渉は2月7日！

部活動手当を改悪\*する県教委からの提案に反対する署名へのご協力、ありがとうございました。

\*4時間以上 3,600円をなくし 3時間以上 2,700円に

1月30日に行った県教委との交渉では、それまでに届いた1,898筆を教職員課長に手渡しました。この後も署名は届けられ、10日間で1,926筆を集約しました。これは、県下の教職員の**10人に1人が署名**したことになります。

交渉では、寄せられたメッセージとともに4時間手当の維持を訴えました。交渉の最後に『働き方改革』には反対していない』『部活動の改革』も必要だと考えている』『3時間の手当を設けることにも反対はしていない』『しかし、部活動の時間が3時間になっていない、3時間でできない実態がある』『労働の対価を支払うべきである』として、「今回の提案は拒否する」「現場でがんばっている教職員の努力に報いる、モチベーションが下がらない再提案を求める」と主張しました。県は、「皆さんの意見をお聞きした。改めて交渉する」と返答しました。

そして、第2回県教委交渉の日は2月7日16時からとなりました。

**再交渉に向けて、さらに署名を上積みしましょう**

**前回署名されていない方は、ぜひご協力ください**

(署名用紙か、QRコードからでもできます)

**2/7 14時まで受け付けます**

### 1月30日の交渉内容 (抜粋)

県：県としては、「働き方改革の推進」と「部活動のガイドライン」をすすめる意味で提案をおこなった。

組：現場は生徒に事故やけががない事を最優先に活動している。そのために準備や片付けを入れると、教員の拘束時間は3時間では終わらない。

組：外部の活動には移動時間もかかる。

組：中体連・高体連以外の試合も、練習試合もある。絶対に3時間では終わらない。

組：手当の上限が3時間だから、部活動も3時間にということか。保護者や生徒に「手当が減るから時間を短くする」とは言えない。

組：教員の気持ちがかかっていない。これまでも家庭を犠牲にしてきた。そもそも、手当が1時間900円では安すぎる。やっと手当が上がってきたのに、今度は下げるのか。

組：現場では特に頑張ってきた人ほど感情的に頭にきている。モチベーションを下げる。

組：教員の一存では部活動時間を減らせない。高校では部活がしたくて入学してくる生徒、部活の実績で進学する者もいる。

県：県としては効率的な練習を周知していきたい。

組：周知だけで活動時間が減るとは思えない。部活動指導員の来年度予算も増えていない。

組：周知して現場が変わるのに時間がかかる。活動時間が減っていないのに手当だけ減らすのはおかしい。労働の対価が払われないことになる。

組：公式戦以外の練習試合などに7～8時間費やしても3時間分の手当というのは全く同意できない。競技団体、高体連、中体連などと調整が進んでからやればよい。